



クラウド型日報システム



利用者アンケート調査報告 抄録

～パーパスを実現するSPISの高度利用に向けて～

はじめに

当会が普及啓発活動とサービス提供を行っているクラウド日報システム SPIS は、2025 年で開発から 12 年を迎えます。この間に精神・発達障害者の雇用や就労支援を取り巻く環境は大きく進展しました。特に雇用現場における企業の関心は、単に障害者を雇用することにとどまらず、雇用した当事者の戦力化やキャリアアップ、それらを実現する職場マネジメントのレベル向上に移りつつあります。こうした中でさらに多くの現場で SPIS をお使いいただくには、それにより企業の関心ごとにお応えできる情報が得られることが求められるでしょう。

私たちは、これまでに SPIS をご利用いただいた皆様の運用状況にそのヒントを求め、SPIS の利用状況についてアンケート調査を実施することにしました。現在 SPIS を導入しているまたは過去において SPIS を導入していた雇用現場と就労支援機関 合計 103 の事業所を対象に、2024 年 8 月から 9 月にかけて郵送法によるアンケート調査を行い、実に 61.2% ともなる 63 の事業所様から回答をいただきました。本資料は、こうして寄せられたアンケートの回答への解析を NRI みらい株式会社に依頼して制作されたものです。

ここには、精神・発達障害者の雇用マネジメントは言うに及ばず、組織運営全体へのヒントともなり得る効果的な SPIS 活用のヒントが散りばめられています。皆様の障害者雇用や組織運営の一助になることを願ってやみません。

2025 年 2 月吉日

NPO 法人全国精神保健職親会

理事長 中川 均

今年度の活動概要（１）アンケート調査フレーム概要

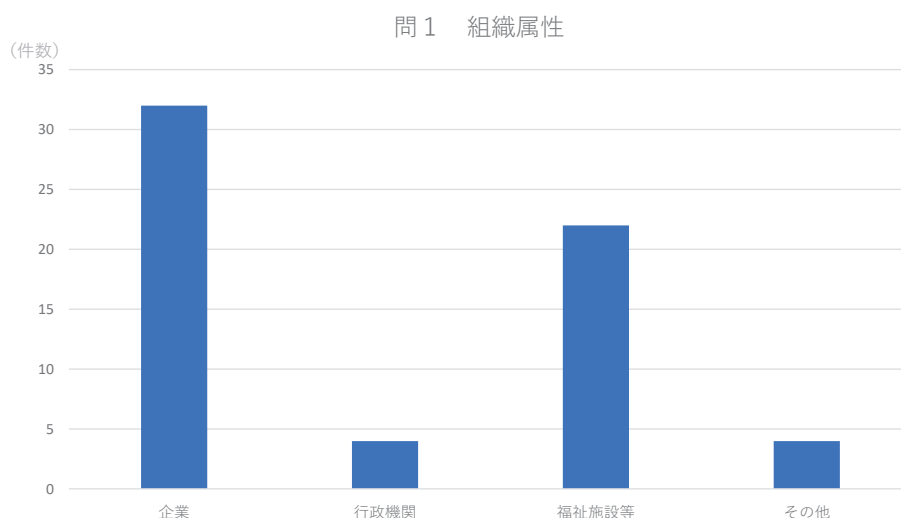
- 仮説を検証する方法として、S P I S 利用者及びかつて利用されていた利用者を対象に、郵送法によるアンケート調査を行いました。

項 目	具体的内容
実施アンケート名	S P I S 利用に関するアンケート調査
アンケート手法	郵送法
アンケート期間	2024年8月27日～2024年9月30日
アンケート対象者	S P I S 利用者 103社 ・vfoster会員企業様 ・S P I S ユーザー会企業様 ・S P I S 研究会会員企業様
回答状況	63社（回答率61.2%）

集計結果

企業・組織属性 ： 企業利用が最も多く、次いで福祉施設となっています。

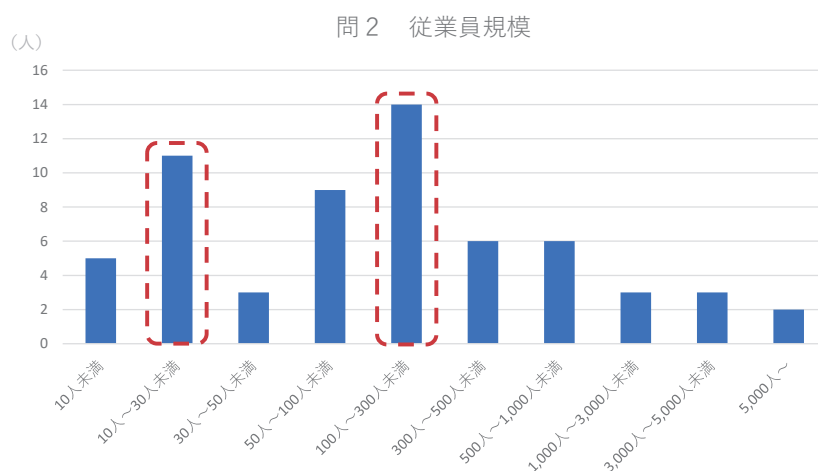
- 問1. あなたの組織の属性をお聞かせください（○は1つだけ）



集計結果

従業員規模 : 30人未満と100人～300人未満に分かれています。

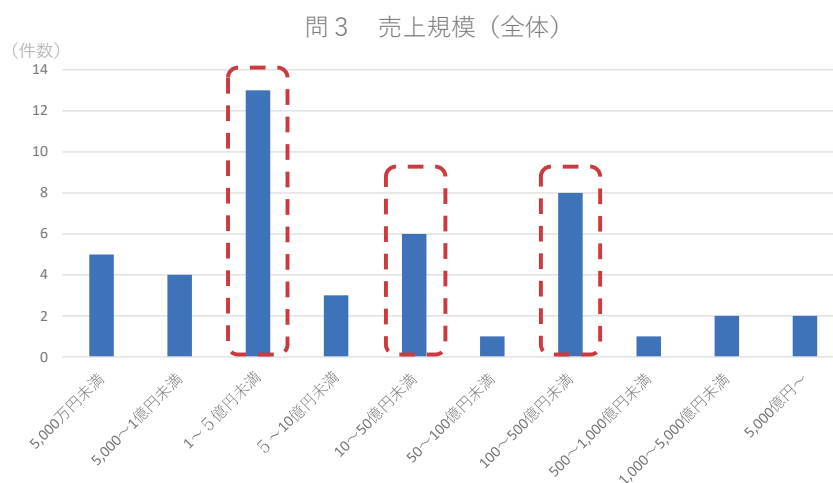
■ 問2. 貴社の従業員規模についてお聞かせください（○は1つだけ）



集計結果

売上規模 : 5億円未満と50億円未満および100-500億円未満に分かれています。

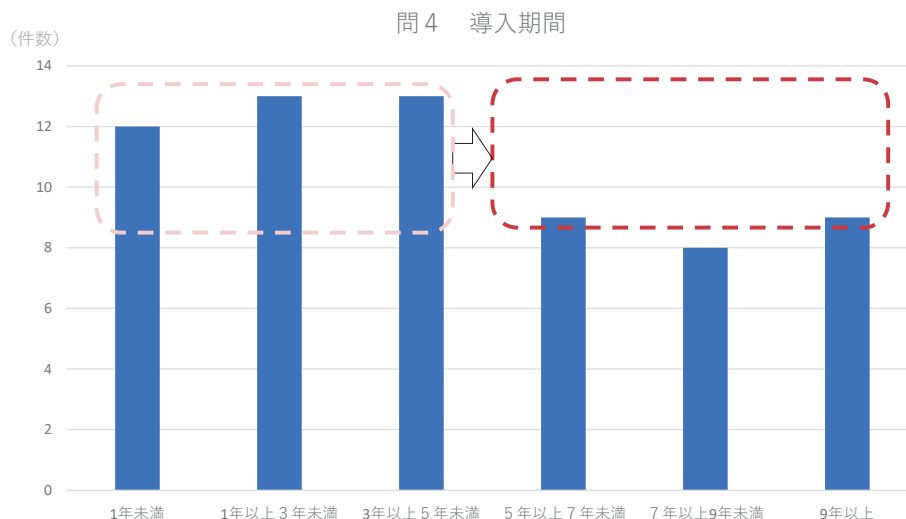
■ 問3. 貴社のおおよその年間売上額についてお聞かせください。（○は一つだけ）



集計結果

S P I S 導入期間（時期）： 比較的5年未満が多いですが、9年以上も見られます。
できるだけ継続利用として、ストック化を図ることが期待されます。

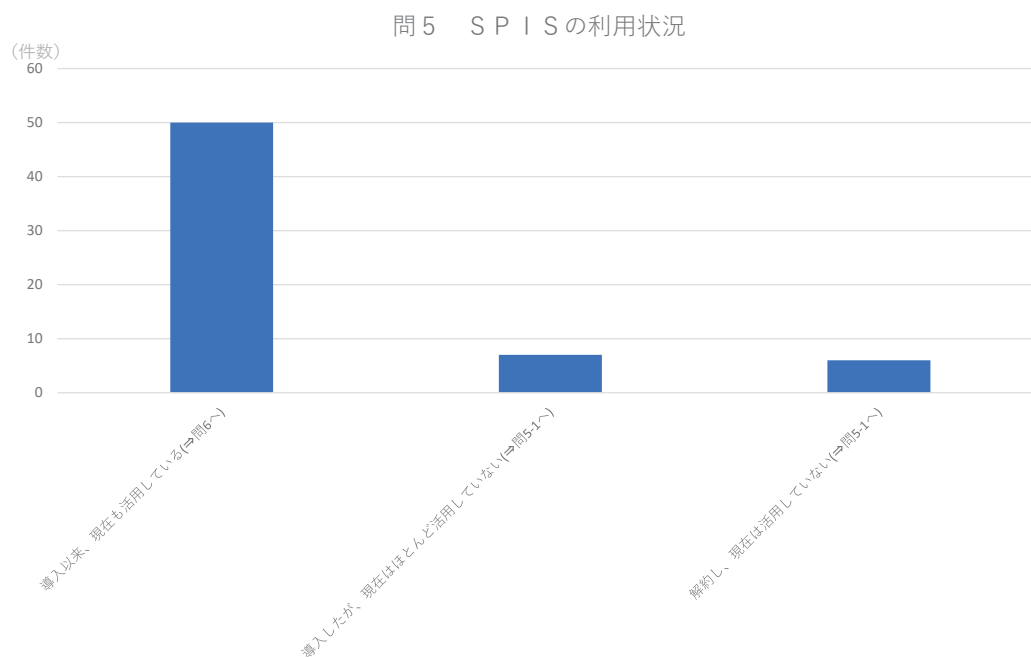
■ 問4. S P I S を導入した時期をお聞かせください。



集計結果

S P I S の利用状況

■ 問5. 現在のS P I S の利用状況についてお聞かせください。



集計結果

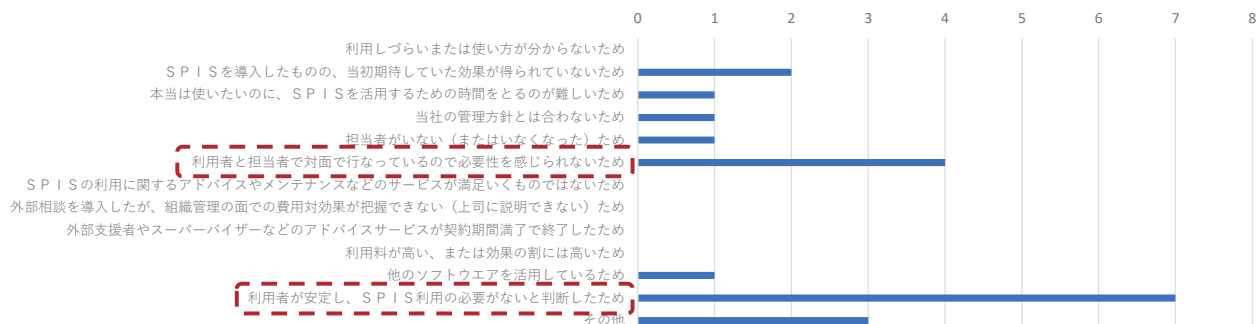
S P I S の利用状況 利用しない理由 : **利用の必要性を感じない理由が最大です。**

■ 問5. 現在の S P I S の利用状況についてお聞かせください。

問5-1. 「ほとんど活用していない」または「活用していない」理由は何でしょうか？
あてはまるものを選んで番号に○をお付けください（複数回答可）

問5-1 利用しない理由

(件数)



<その他（具体的に）の回答>

利用者が退職したため

モニターのような形で活用させていただいたが2人は退職。1人は会社組織再編で終了した。1人は転職。

社内で日報が電子化され内容がだぶっている。面談者と支援者(就労移行)がいてどちらに相談したら良いか困っていたため。

集計結果

S P I S の再利用に必要なこと : **再利用の条件は「利用者の再来」が最多でした。**

■ 問5. 現在の S P I S の利用状況についてお聞かせください。

問5-2. 今後再び S P I S を利用するとしたら、どのようなことが必要と思いますか？
あてはまるものを選んで番号に○をお付けください（複数回答可）

問5-2 再利用に必要なこと

(件数)



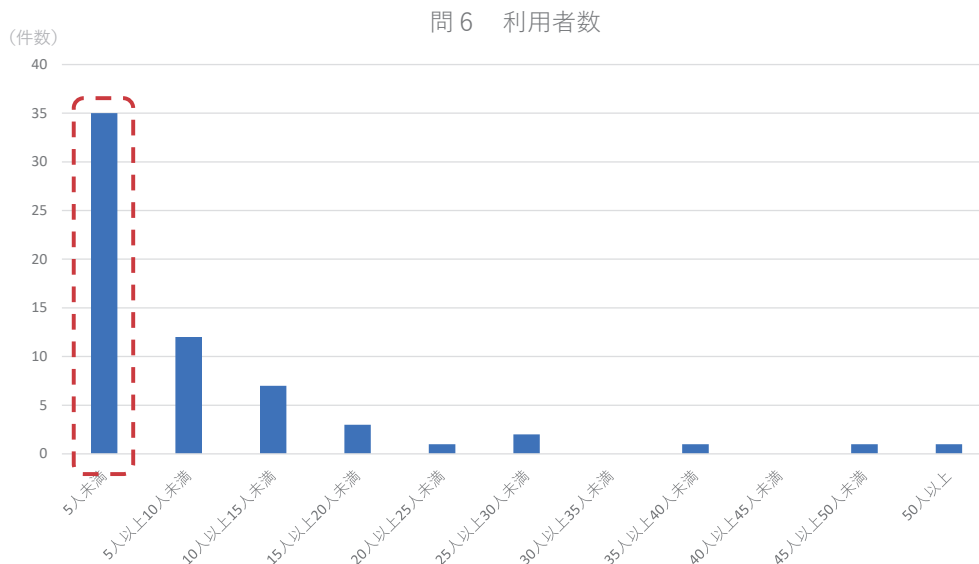
<その他（具体的に）の回答>

(なし)

集計結果

S P I Sの利用者数 : 利用は5人未満。職場担当者の目の届く範囲が多いです。

■ 問 6. S P I Sの現在の利用者数をお聞かせください。

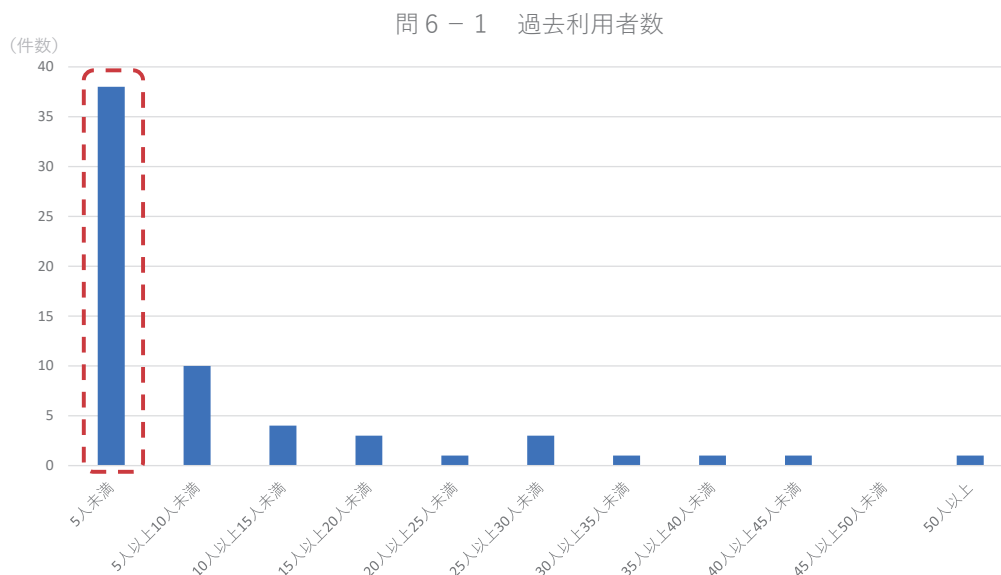


集計結果

S P I Sの利用者数 : 過去の利用者も5人未満が最多です。

■ 問 6. S P I Sの現在の利用者数をお聞かせください。

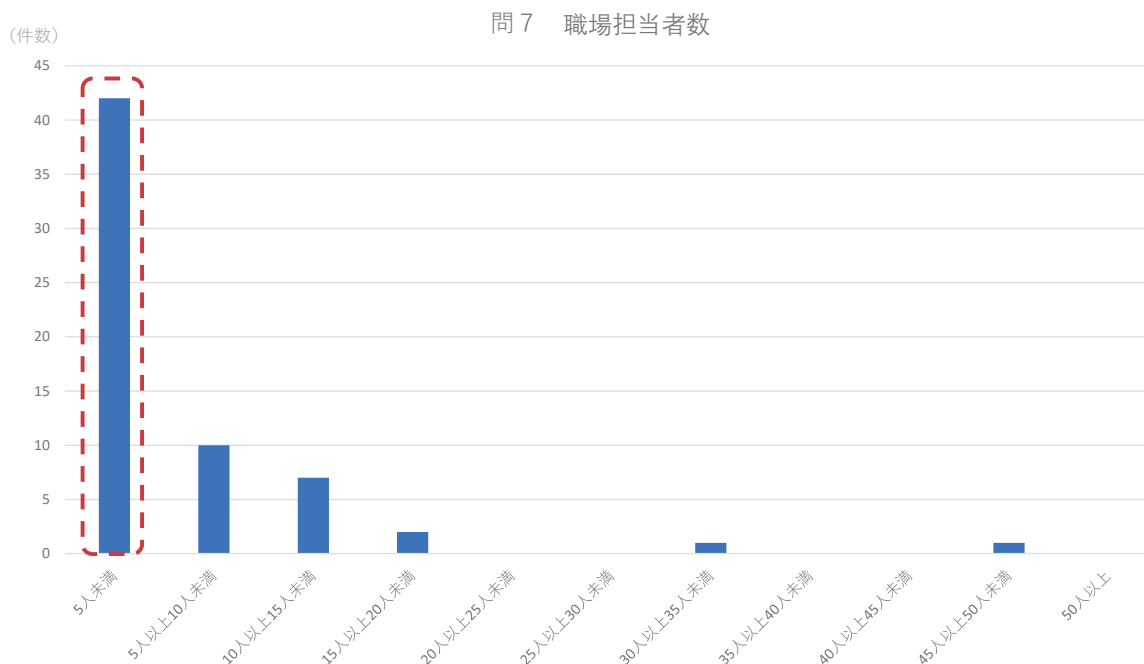
問 6 - 1. 現在はS P I Sを活用していないが過去に利用していた方は概ね何人いらっしゃいますか？



集計結果

S P I Sの職場担当者数 : 同じく職場担当者も5人未満が最も多いです。

■ 問7. S P I Sの職場担当者の人数をお聞かせください。

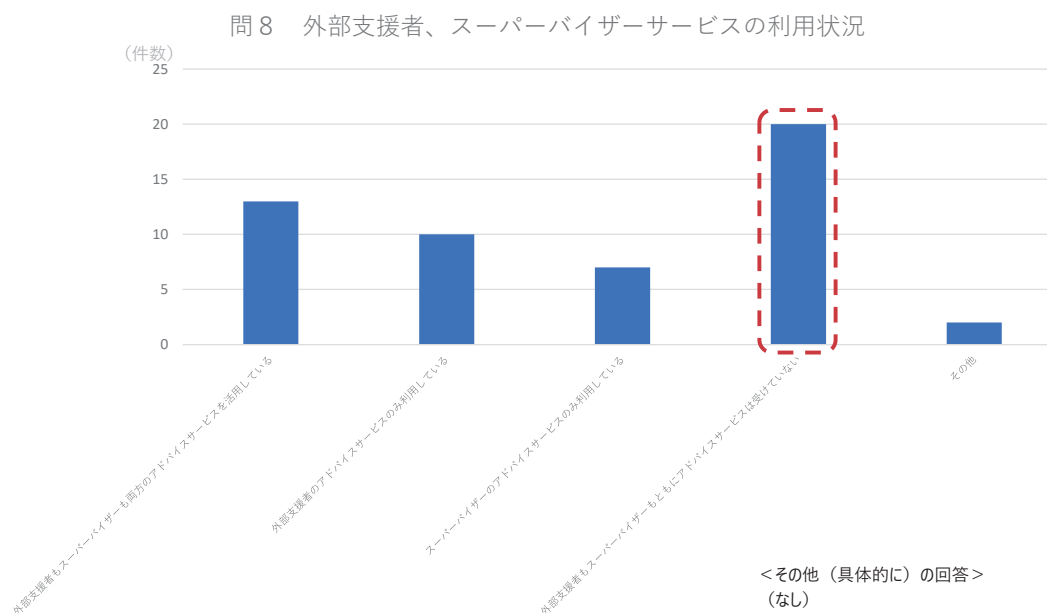


Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved. **NRI** 11

集計結果

外部支援者、スーパーバイザーのアドバイスサービスの利用 : ともに「受けていない」が最多です。

■ 問8. 外部支援者、スーパーバイザーのアドバイスサービスを利用しておりますか？（○は1つだけ）
なお、外部支援者には「社外の地域の支援者」も含まれます。



Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved. **NRI** 12

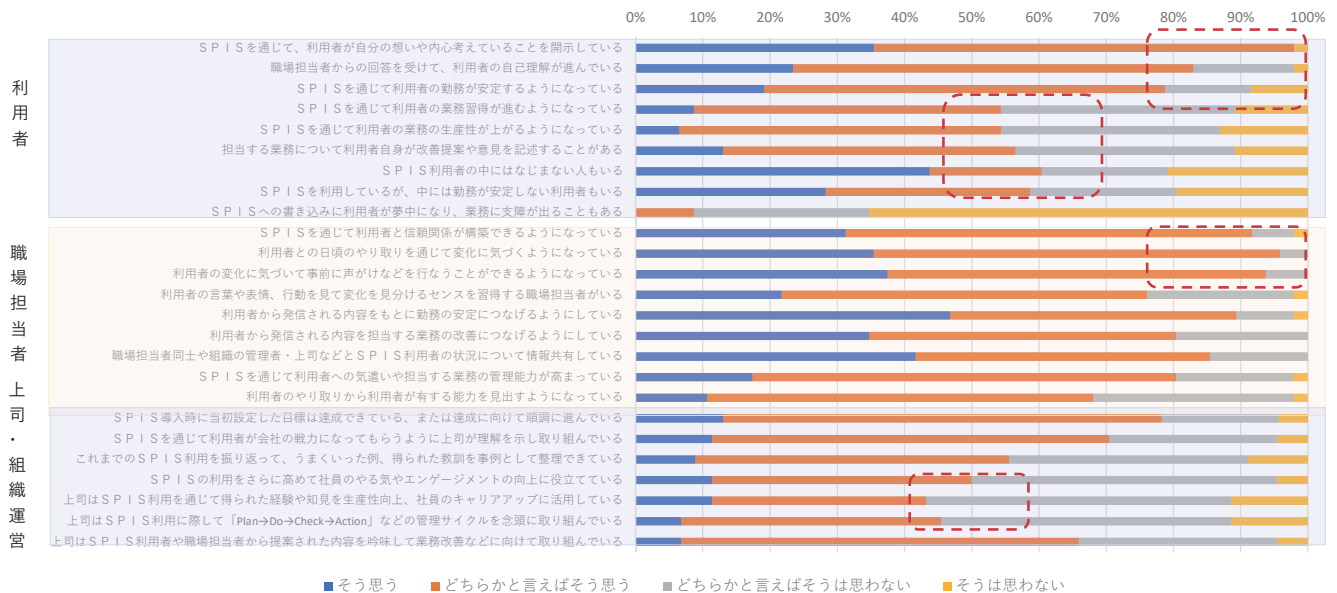
集計結果

調査結果の概要：単純集計結果について（２）職場担当者によるリード

■ S P I S の利用についての印象や気づきは大きく３点

- 利用者の勤務の安定、内心開示が「進んでいる」一方で、業務改善などはそれほど進んでいない状況であること
- 職場担当者は概ね利用者との信頼関係ができてきていること
- 上司については、P D C A サイクルや生産性向上にはまだ不十分であるという傾向がみられること

問 9 S P I S を利用した印象や気づき



集計結果

S P I S 利用の印象や気づき：①利用者

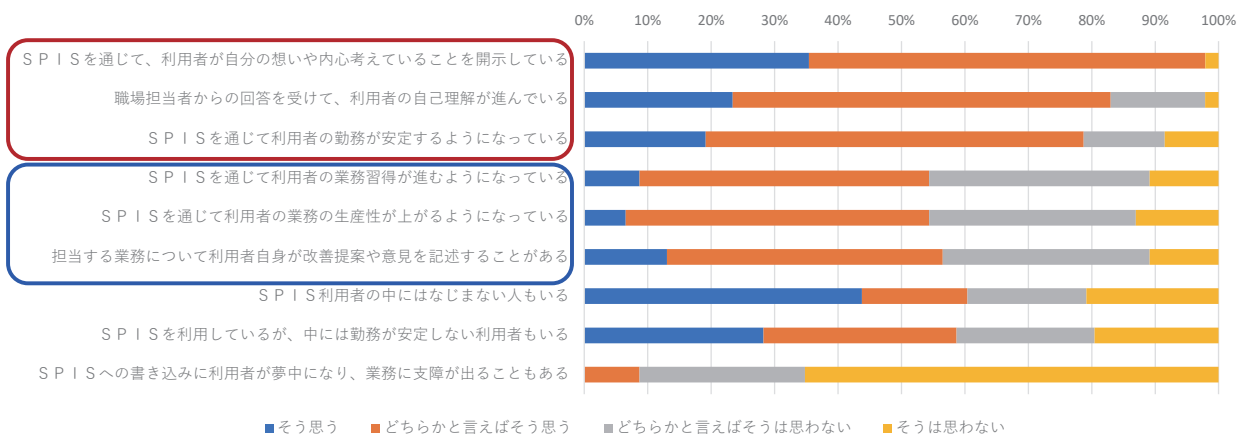
利用者の内心開示及び自己理解の効果が高いです。一方で業務習得、改善提案、生産性向上には相対的に低い結果が出ています。

■ S P I S を利用した印象や気づきについてお伺いします。

問 9. 日頃 S P I S を利用して、どのような印象や手ごたえを感じていらっしゃいますか？

それぞれの項目について最も近いものを選び番号に○をお付けください。（○は1つだけ）

なお、利用者は日報を記述している方を指します。



集計結果

S P I S利用の印象や気づき : ②職場担当者

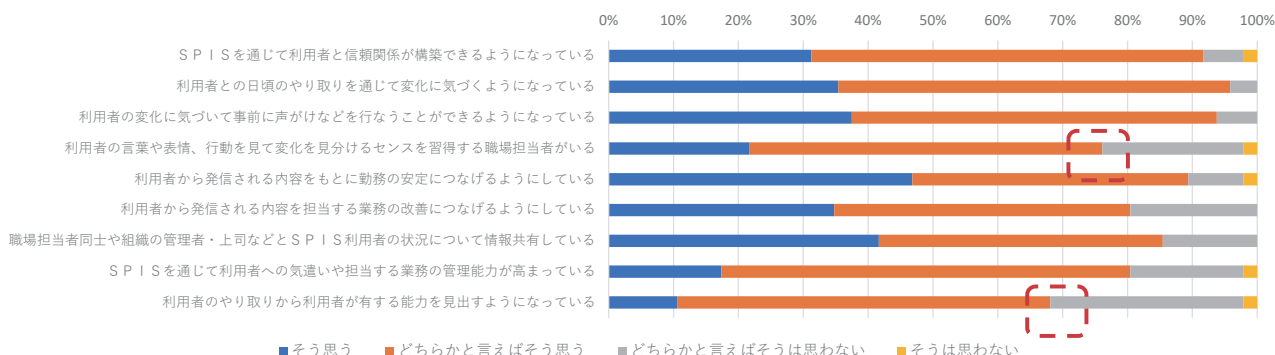
総じて前向きな成果が出ております。ただし、職場担当者行動が利用者の能力見出し、気遣い、気分の見分けの能力向上は相対的に低いです。

■ S P I Sを利用した印象や気づきについてお伺いします。

問9. 日頃S P I Sを利用して、どのような印象や手ごたえを感じていらっしゃいますか？

それぞれの項目について最も近いものを選び番号に○をお付けください。(○は1つだけ)

なお、利用者は日報を記述している方を指します。



集計結果

S P I S利用の印象や気づき : ③上司、組織

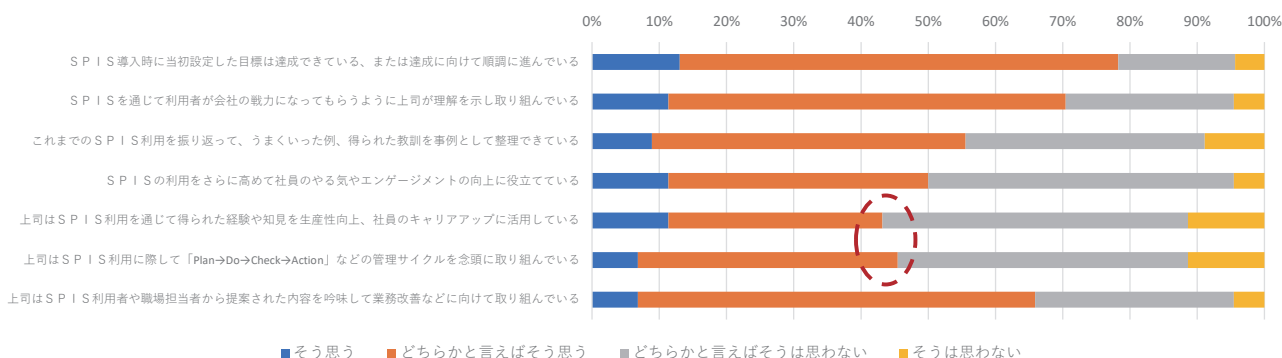
上司の理解に対しては、やや厳しめの反応です。特に生産性向上・キャリアアップ、P D C Aサイクルへの活用には至っていないと考えられているのが半数以上を占めています。

■ S P I Sを利用した印象や気づきについてお伺いします。

問9. 日頃S P I Sを利用して、どのような印象や手ごたえを感じていらっしゃいますか？

それぞれの項目について最も近いものを選び番号に○をお付けください。(○は1つだけ)

なお、利用者は日報を記述している方を指します。

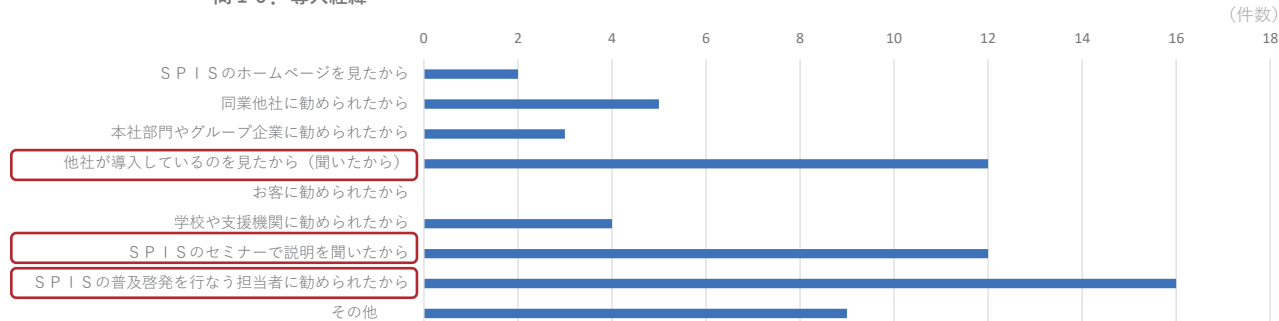


集計結果

S P I S の導入経緯 : ほとんどが外部からのお勧めです。

- 問10. S P I S はどのような経緯で導入されましたか？
あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

問10. 導入経緯



<その他（具体的に）の回答>

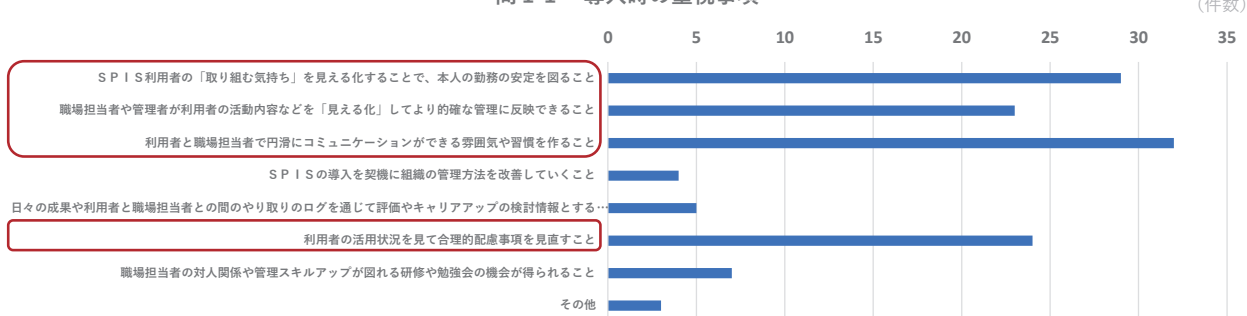
知り合いの方からの紹介
障害者雇用に関心のある方から話を聞いたから
宇田さんに講演をお願いしてから紹介された
京都ジョブパークのHPを見て
研修に参加した際に知った
上司が情報を持ってきた

集計結果

S P I S の導入時に重視したこと : コミュニケーションの雰囲気、勤務安定、見える化を重視しています。

- 問11. S P I S の導入に際して重視したことは何ですか？
あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

問11 導入時の重視事項



<その他（具体的に）の回答>

日々の健康管理や状態、変化の見極めツールとして利用
日報だけでなく、面談も実施すること(対面でのコミュニケーション)

集計結果

S P I Sの導入時に考慮したこと：重視した内容を実現するために勤務安定、人数絞って管理が届く範囲、職場担当者のコミュニケーション能力向上を図っています。

- 問12. S P I Sの導入に際してどのような点を考慮しましたか？
あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

問12 導入時の考慮事項



<その他（具体的に）の回答>

支援機関の依頼によるものであったため、そのまま経過観察
新入社員全員に6ヶ月間導入した

集計結果

S P I Sの有効活用のための取り組み：反応の情報共有、利用者との定期的なミーティング、内心のヒアリングとやり取りなどを中心に行なっています。

- 問13. S P I Sの利用をさらに有効していくためにどのような取り組みを行なっていますか？
あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

問13 S P I S有効活用のための取り組み



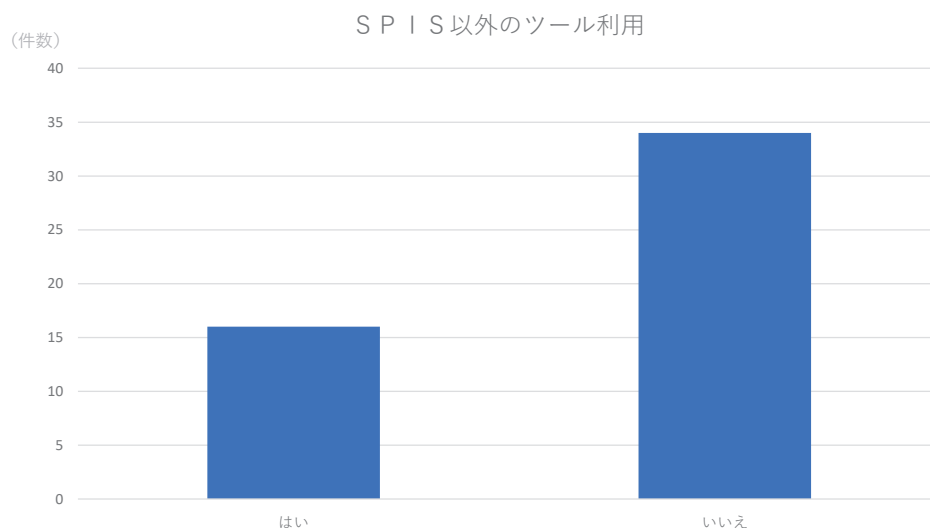
<その他（具体的に）の回答>

良いシステムなので、担当者を増やしていくことができたと思う
職場担当者間でのケース会議
月に1回S P I S研との定例ミーティングを行っている。

集計結果

S P I S 以外のソフトウェアやツールの利用状況 : 約 3 分の 2 が「いいえ」と回答しています。

■ 問14. S P I S の他に別のソフトウェアやツールを活用して利用者とやりとりしていますか？（○は一つだけ）



集計結果

S P I S 以外のソフトウェアやツールの利用状況 :
多くは社内資源の活用やエクセルシート、メール、S N S ツールを活用しています。

■ 問14- 1. S P I S の他に別のソフトウェアやツールを活用して利用者とやりとりしていますか？（○は一つだけ）
差し支えなければソフトウェアやツール名をお知らせください。

■ 社内のシステムを利用 社内システム(社員の日報を共有するためのもの) ■ エクセル xlsxファイル ■ メール ショートメール、Eメール ショートメール、メール メールでのやりとり、毎日の日報を活用 メールでのやりとり メールでのやりとり	■ SNS チャットワーク LINE ライン、ショートメール メール・ライン メール、LINE Line FBメッセージャー ライン、ラインワークス ■ その他 コミュニケーションノートへ手書き
--	---

集計結果

SPIS以外のソフトウェアやツールの利用状況

- 問14-2. SPISの他に別のソフトウェアやツールを活用して利用者とやりとりしていますか？（○は一つだけ）
そのソフトウェアやツールはどのように利用されていますか？
また、SPISとはどのように使い分けていますか？

お答えいただいた
方ごとに整理

1) ソフトウェアやツールのご利用方法	2) SPISとの使い分け
社員が使う日報と別になってしまい、一体感が得られないので、障がい者枠で働くメンバーとSPISをつなぐようにしている。（一般社員用も読めるようにしている）	SPISだと評価基準が見えないので、社内の日報システムに各自の評価基準1~4の定義を記載し見える化。チームメンバーが全員目線を合わせられるようにしている。SPISでの返信が手間なのでアドバイスなどは社内日報システムで返している。
文章などを早急に伝えることを残す。	評価
日報のやりとり	訓練的なものを日報。 精神的なものをSPIS。
日報(その日の体調、業務の進捗、困り事を書いている)	精神障がい者の方がメイン。パソコンを持っている社員が主に使っている。
業務連絡や業務中の相談	業務連絡と内面を開示するツールと分けています
業務で必要事項の報告等	SPISでもLINEでも伝達しやすい方で連絡して良いとしている。スピード重視、使いやすさ重視で本人の選択に任せる
台風での急な休みの時の連絡等、メールで来た質問にはメールで返信	その日その日の体調や仕事で困ったこと(急ぎではないと判断した内容)についてSPISで返信
連絡事項や突発休の連絡等	SPISは業務日誌としての利用がメインとなっている
業務終了時に何でもよいので書いて頂き、上司がコメントを返す。	特に使い分けをしてはいません。 手書きはその方の心情(焦りなど、文字から表れる心理状況)が見えたりします。また、文字表現が苦手な方は絵を書いて気持ちを表現されたりしておりますのでその点からも継続しております。
メールでのやりとり	SPISは体調の管理がメイン。 メールは連絡事項のやりとりがメイン
臨時的な連絡時に使う	定期的な日報の提出という意味合い
ショートメッセージ	担当者と詳細なやりとり(困ったことがあるときなど)
業務連絡、相談	主に感情の伝達

集計結果

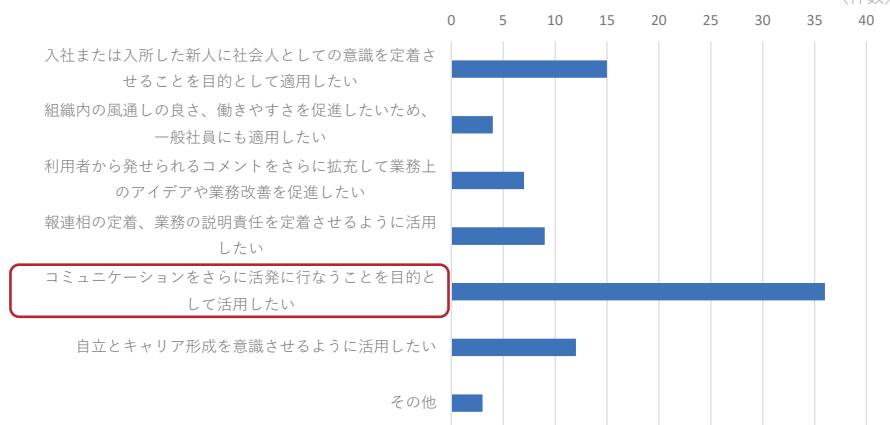
今後のSPIS利用について（1）利用者について 今後もコミュニケーションの活発化に力点を置いております。

問15-1 利用者に対してのご利用意向について、あてはまるものを選んで

番号に○をお付けください

(複数回答可)

(件数)



<その他（具体的に）の回答>

職場でみた感じではわからないことをアプリ出してくれたり、発達のデコボコがあるメンバーの苦手な質問事項を数値(スコア)でもっと楽に伝えることができるような工夫。

職場担当者のスキルアップとして活用したい

体調管理の継続

集計結果

今後のSPIS利用について（１）利用者について
当面は現状維持が最も多いですが、利用者枠の拡大の意向も窺えます。

問１５－２ 利用人数について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。

（○は１つだけ）

（件数）



<その他（具体的に）の回答>

人員が増えれば増やす

法定雇用率の見直しに伴い検討したい。

必要に応じて利用者枠を増大して活用していきたい

集計結果

今後のSPIS利用について（２）職場担当者に対して
同じくコミュニケーションの拡充を図ることに重きが見られます。

問１５－３ 職場担当者のご利用意向について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。

（複数回答可）

（件数）



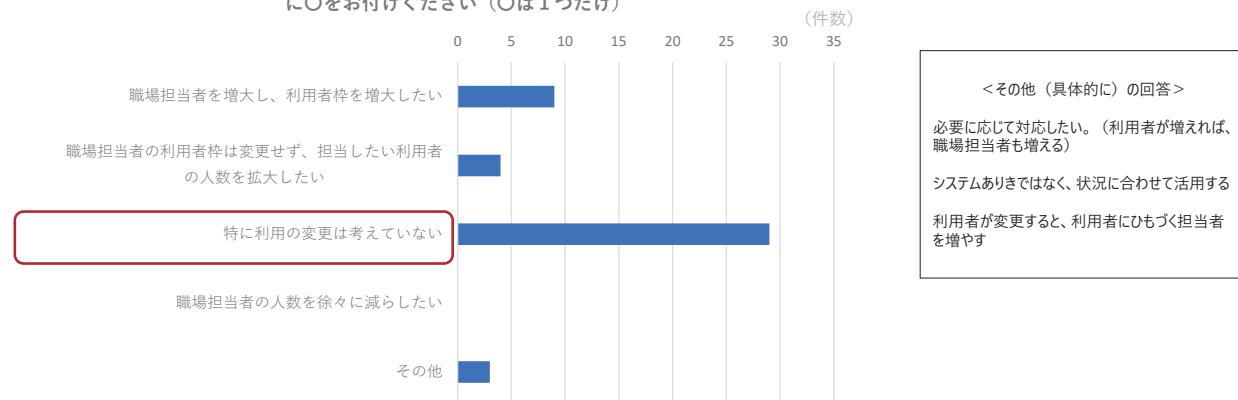
<その他（具体的に）の回答>

コミュニケーション自体、得意でない方が多い。
何でもいので伝える場としたい

集計結果

今後のSPIS利用について（２）職場担当者に対して
同じく現状維持の動向ですが、利用者枠の拡大の意向が窺えます。

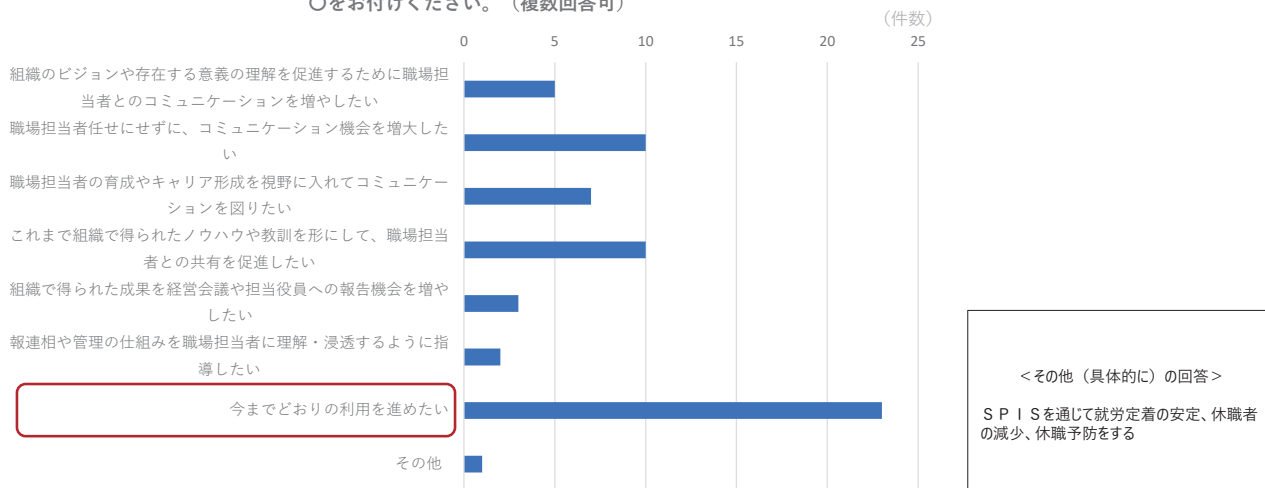
問 1 5 - 4 職場担当者の利用人数についてあてはまるものを選んで番号
に○をお付けください（○は1つだけ）



集計結果

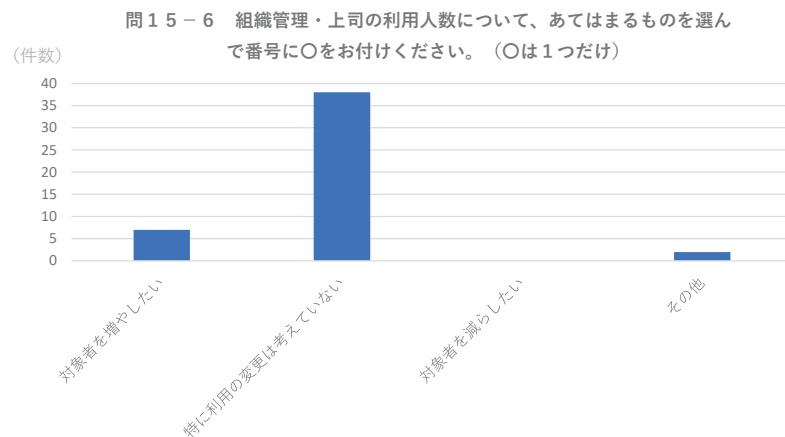
今後のSPIS利用について（３）組織管理・上司に対して
現状維持の姿勢が窺えます。

問 1 5 - 5 組織管理・上司のご利用意向について、あてはまるものを選んで番号に
○をお付けください。（複数回答可）



集計結果

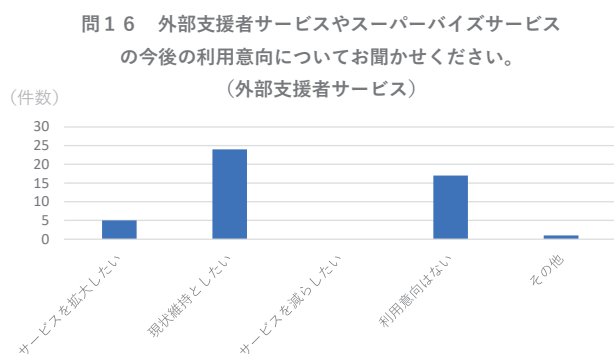
今後のSPIS利用について（３）組織管理・上司に対して
現状維持が窺えます。



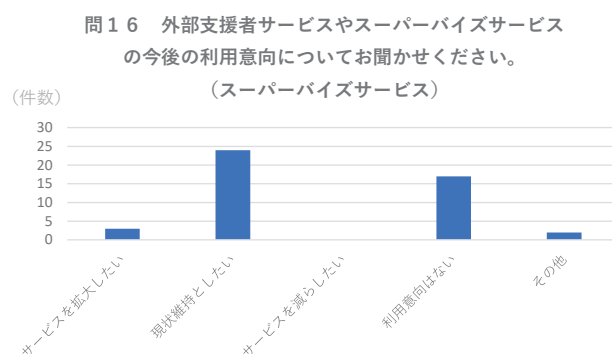
<その他（具体的に）の回答>
各事業所単位で運用した際は増やしたい。

集計結果

今後の外部支援者サービス、スーパーバイズサービスの今後の利用意向について
ほとんどが「現状維持」「利用意向なし」となっています。外部との接続というSPIS独自の
機能に対する反応はやや保守的です。



<その他（具体的に）の回答>
個人的には拡大したい



<その他（具体的に）の回答>
サービスがわからない(枠外記入)
個人的には拡大したい

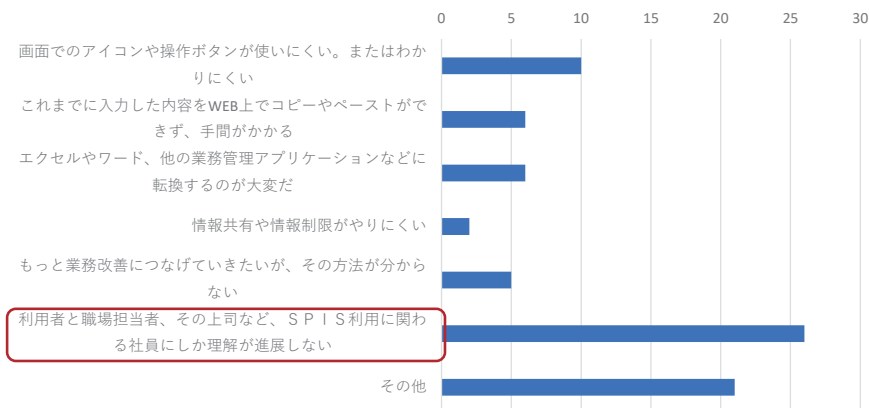
集計結果

日頃のSPIS利用における問題 SPIS利用の範囲が理解者までという状況が窺えます。

問17 日頃SPISを活用してどのような問題を感じていますか？あてはまる

項目を選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

（件数）



<その他（具体的に）の回答>

■満足（特になしという回答）
特になし、今のままで充分

■操作性の問題
「戻る」ボタンを押すと先頭にスクロールアップしてしまうなど操作性が悪い

PCの問題かもしれないが<>ボタンの反応が悪い時がある

複数人がつかうとき(同法人で)に枠の設定が不自由

コメントの書き込みが競合すると記入したコメントが喪失する所を改善して欲しい。服薬管理で薬名を入力するが日報画面には表示されないで活用のシーンが思い浮かばない

利用者さまへのコメントをもっとスムーズに返答できるようにしてほしい。利用者の日報が一覧で見れて、そのページで全員にコメントを返せるようにしてほしい。全員のページを開き回答は手間。

利用者感想出力一覧で表示されるExcelの画面が見づらいです。

利用者が担当者や支援者のコメントを読んでいるのか判断できない。

同時に同じ利用者にコメントを入れると一方が更新できなくなり、不便である

職場担当者の負担

■利用と管理
1年経過していないですが、緑欄の活用がとても有効と感じています。

項目を含め足りていない。キャリア形成できる場がない。

毎日チェックコメントは手間がかかる。
本人が外部支援者を頼りすぎてしまう。

■その他
利用していた頃の担当者が異動しておりわからない。

Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved. **NRI** 31

集計結果

現在感じている貴社の課題

■ 問17. 現在感じている貴社の課題についてお知らせください。（自由記入）

・不調に陥るタイミングが読めず、急にメンタル不調となることがある。 ・メンタルヘルス等の知識が弱い従業員が多い。

・精神障害(手帳)のみなので勤怠の安定には苦慮している。 ・障害者同士の問題に苦慮している。

・障害者の方の勤怠の安定に苦慮している。 ・人によって利用の仕方にばらつきがある。

職域拡大をどんどんしているが、人事制度がおいついていない

定期的なリアルエスピスがあることで、エスピス上に書けないものとかもコミュニケーションとりたいと感じるのですが、なかなか訪問や面会等ができていないことが課題に感じます。問題を察知したときには集中して対応できていることは、エスピス効果だとは思いますが、つながり続ける関係性は大事なことで感じています。

SPISのチェックが遅れてしまう事があり、タイムリーなコメントが出来ない事がある。日々の日課にしているが...

就労移行支援事務所から利用者が就職した際、企業にSPISを導入することが難しい

障がい者雇用の拡大について

職場担当者自身の支援が見える化され、ポジティブな職員は力がどんどん伸びていきますが、ネガティブな職員が改善されるのかと思いきやむしろネガティブであることから成長しようとせず、自分のあり方に固執してしまう。自分はまちがっていないんだと変化しないことすら見える化されている。スーパーバイズミーティングを行っても、行えば行うほどにその差は顕著です。

現在他ソフトを利用

昨年の厚労省からのキャリア形成の必要性について現行のSPISでは対応できない

コミュニケーション苦手な方のコミュニケーションを取る頻度の少なさ。自発的な業務改善。

SPISのメリットは感じつつも社内ツールも共存しており、その両方をこなしていくサポート体制が整っていない

特にありません 特になし 特にありません

Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved. **NRI** 32

集計結果

現在感じている貴社の課題

■ 問17. 現在感じている貴社の課題についてお知らせください。（自由記入）

従業員の勤務の安定

精神障がい者に対して安定した雇用

職場担当者の育成 ・ S P I S の支援は外部支援者がメインになってしまっている。職場担当者が利用者の入力をもとに、職場の環境を改善したり、利用者に関わらせることが少ない。

支援員の役割、支援体制の確立が課題です。支援のスキルアップと支援者へのケア

有効に活用できている担当者とうでない者との差が大きい。 ・コメント返信ができていない。

障害のある会計年度任用職員が体調を崩すきっかけが不明確な場合が多く、予兆をつかみづらいこと。

今後入社された精神・発達障がいの方に必要に応じて利用することにより、定着と相互理解につなげる。

コミュニケーションを取る為のツールとしてはコメントが少ない。利用者評価も実際の結果とは違う数値の事も多いので利用者の理解が進んでいないのではないかと本人申告の「好調・不調」があまりあっていないと感じることが多い。作業数量の増減がダイレクトにリンクしているが、把握するのに工数がかかり時差もあるためタイムリーなアプローチができていない。作業時間の管理とあわせて作業数量の入力ができるようにしてほしい。

ナチュラルサポートとしての関わり。いずれは自立し、戦力になるためにはナチュラルサポートは必須と考えている。どこまでサポートしていくのかそのポイントが明確になっていない。

・就職が決まり卒業された方のデータ管理 ・1日1日 S P I S を利用して利用者の方と面談を行っているが(対象者にとっては週に1回)統計資料を用いた長いスパンでの体調管理が少し徹底できていない。

就労定着支援事業利用されている方を対象に定着支援の一環として導入。 日々の出来事や困ったことを入力していただき、面談時に活用。 宅時や帰宅後などプライベートの時間を使って入力していただいている。

集計結果

現在感じている貴社の課題

■ 問18. 現在感じている貴社の課題についてお知らせください。（自由記入）

予算内での外部支援・スーパーバイズの利用

S P I S を活用し、組織変革をしていきたいと考える側と現状維持で満足する側のギャップ

S P I S 利用者ややりとりで誤解が生じたり、本人が返してほしい言葉をかけられなかったときなど、関係がうまくいかなくなり、お互いにストレスに感じることもある。一方通行のやりとりなので、難しさを感じている。S P I S 上で、何度かやりとりできるといいなあと感じることもある。

・ S P I S に記入ができていない状態が少しイメージできるが、本人の体調が悪化し記入のハードルが上がってしまうと状態がつかめなくなる。体調に合わせて記入項目を細めに変更することも必要と感じる。
・機能がたくさんあるが使いこなせない ・ S P I S を活用した支援に慣れていない

S P I S 利用に向かない方とのコミュニケーションに苦慮している

新規入社した社員に対し S P I S 適用が適しているかを見極めにやや難儀している。

現在は就労を目標として取り組まれている利用者へ S P I S の導入をしているが、もっと多岐の目的で利用していけるようにしていきたい。他事業所で良い事例があったら知りたい。

・支援者の育成 ・研修費等の充実 ・業務の切り出し

業務が一部の社員に集中してしまっていること

一斉スタートで S P I S をスタートしたため、ルール、使い方、方針などが利用者、担当者いずれも理解度がまちまち(差がある)

・チームとしての向上(支援力)、チームとしての活用 ・ S P I S を活用したスキル向上。いかに支援に活かすのか。

集計結果

現在感じている貴社の課題

■ 問19. その他 S P I S についてご意見がございましたら遠慮なくお書きください。（自由記入）

タイミングが合えば利用したい。新入社員のフォローとか。

機能面は改善したいことも多くあるが、当事者も利用していて安定して活やくできているのでとても助かっています。

いろんなツールがあることは聞いていますが、まずはやり続けることが大事と考え、エスピスを大事に利用していきたいと考えています。

多くの障害のある方を雇用している企業などへ活用の啓発を積極的に行いたい。事例集(活用)などがあると良いと思う。

あくまでコミュニケーションを取るための1つのツール。その他補完するものが要ると感じる。

検索機能にワード検索の機能をつけてほしい。

体調不良がどういったことと関連しているのかヒントがあればと考えていたが、分析できるほどの情報が得られなかった。また、利用者本人としては、支援者とのメッセージのやりとりを S P I S 側の方にも知られてしまうことに抵抗があったようだった。

睡眠がうまくとれなかったり、理由がよく分からない不調の訴えの中で、気温・気圧のグラフを参照したりしているのですが、〈温度〉も入ってくるようになると良いのになって思ったりしています。本当かどうかはわからないにしても合理的な不調の理由探し(とくに環境の変化)をエスピスをみながら一緒にする時はメンバーも色々と考えたりしてくれています。身の回りのできごとと、環境変化と加齢等総合的なことを考えた上で判断できていく手助けにエスピスになっているし、先に書いた〈温度〉までグラフ化できたりするととても助かるかもしれません。温度は近い場所でも変化があったり難しいのだらうなと思いますが・・・よろしく、今後ともお願いいたします。

事例の共有・情報・意見交換などの機会を多く作って頂きたいです。 研修・セミナーの情報

・頭で考えていること、言いたいけど言えなかったことなどを言語化でき、「そんなことを考えていたのか」と驚くこともあります。弊所では大変役に立っています。 勤怠安定を意識してもらうため、出欠以外に「遅刻」「早退」の選択ボタンや「統計分析」の際、欠席、遅刻、早退の件数が表示されるようになるとありがたいです。

・すべての人に対応できるものではないと思う。実際活用させて頂いたケースでは4例とでも有効に活用できなかった。 双方の信頼関係がないとなかなか自分の状況を反映できないし、正直に心の動きを記入できず、形骸化する

今まで利用していた業務日誌よりも入力しやすいとの声が多く短い期間で定着した様に思います。 今後期待する効果が出る様、利用方法について改めて社内で意見交換が出来ると思います。

集計結果

現在感じている貴社の課題

■ 問19. その他 S P I S についてご意見がございましたら遠慮なくお書きください。（自由記入）

S P I S がマッチする方とそうでない方、両面を経験しました。就労マッチングにも大きな影響があるとは思いますが、次回は実習からの利用を試みたいと考えています。

以下の内容でスタッフが困ることがございます。

・人物で日報を検索する際に最新の更新日からデータが出てこない場合がある ・ページを送る時、ボタンがなかなか反応してくれない。(＞、＞＞！) ・コメント欄を編集している際、一定時間が経過するとデータが消えてしまう。 ・統計データを□重ねて表示する際、気温と気圧が重ねられない(グラフ) ・気温や気圧はこのデータ(気象庁などでしょうか)を元にしていらっしゃるか、設定などができると幸いです。

3ページ上にあるような構図で利用していない為、うまく回答できない部分がありました。

S P I S を組織改革に活かした事例を知りたい

日々の支援に役立てることができている。

利用者毎に個別に利用者評価項目が設定出来るところが特に優れており、きめ細やかな配慮に繋がるとかんじているので非常にありがたいと感じています。 引き続きよろしく申し上げます。

スーパーバイズを受けることによって、職員のモチベーションが高まることを実感しています。月に1回の開催大変有効かと思えます。 地域の他事務所で S P I S を導入している事業所との合同勉強会も予定しています。事業所外の支援員とディベートする機会はたくさん気づきや学びがあり、一人一人の支援が向上します。継続できると良いなと思っています。

・利用中は対面では伝えられなかった思いを利用者が書いてくれたり信頼関係を築くことに役立てることができました。スーパーバイザーからのアドバイスは S P I S 上だけでなく普段のかかわりにおいてとても勉強になりました。今は利用していませんが、活用させて頂いてよかったと思っています。ありがとうございました。

企業の方へご提案した際、ある程度の規模の場合、S P I S の有効性を瞬時に思われる印象があります。気軽に知り、導入してもらえる流れがあると有難いです。

・費用対効果を、求められるため、示せるデータ集計をしてほしい。 ・アンケートについて S P I S 導入企業向けのアンケートでは？福祉事業所であるため、回答しにくかった。

特にありません

< 参考 > アンケート原表（1 / 4）

SPIS 利用に関するアンケート調査
回答票2024年8月
NRI みらい株式会社

本アンケートは、SPIS の利用状況について調査するものです。ご回答いただきました調査結果は、今後、SPIS のよりよい利用方法に向けた提言やサービス向上に活用させていただきます。

ご多忙中、誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨と意義をご賢察の上、何卒ご協力をお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきましたアンケート用紙は厳重に保管し、調査結果は全て統計的に処理したうえで、集計結果として取り扱います。回答した法人及び個人が特定されるような形で公表することはありません。また、ご回答いただいた方から頂戴しました本調査に関するご要望もサービス向上の参考とさせていただきます。

なお、本アンケートは、NPO 法人全国精神保健職親会が NRI みらい株式会社に業務委託を行なって実施しています。

ご記入にあたってのお願い

1. 本調査の回答はなるべく、**貴社の SPIS 管理者または職場担当者の方**にお願いいたします。
2. 回答は、当冊子に直接ご記入の上、**2024年9月20日（金）**までに同封の返信用封筒により返送してください。
3. 回答は、**あてはまる番号に○印をつけていただく質問と、お答えをご記入いただく質問**があります。**○印はひとつだけの場合と複数つけていただく場合の両方**がございます。
4. 本文中の「合理的配慮」とは、身体、精神、知的に障害がある人や、日常生活や社会生活を送るうえで、性別、人種、国籍、等が要因となり生まれる困難さを軽減させる為に行われる、周囲からの支援や環境の調整の事を指します。
5. 本文中の漢字表現は、障害者に関する法律を参考にして記載しております。

お問い合わせ先

NRI みらい株式会社
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-1
横浜野村ビル
足立 k3-adachi@nri.co.jp
谷口 y5-taniguchi@nri.co.jp
アンケート回答窓口 mirai-spis-kaitou@nri.co.jp

■ はじめに、貴社についてお伺いします。

問1. あなたの組織の属性をお聞かせください。（○は1つだけ）

1. 企業 2. 行政機関 3. 福祉施設等 4. その他（具体的に）

問2. 貴社の従業員規模についてお聞かせください。（○は1つだけ）

1. 10未満 2. 10～30未満 3. 30～50未満 4. 50～100未満 5. 100～300未満
6. 300～500未満 7. 500～1,000未満 8. 1,000～3,000未満 9. 3,000～5,000未満 10. 5,000人～

問3. 貴社のおよその年間売上額についてお聞かせください。（○は1つだけ）

1. 5,000万円未満 2. 5,000～1億円未満 3. 1～5億円未満 4. 5～10億円未満 5. 10～50億円未満
6. 50～100億円未満 7. 100～500億円未満 8. 500～1,000億円未満 9. 1,000～5,000億円未満 10. 5,000億円～

問4. SPIS を導入した時期をお聞かせください。（書き方の例：3年4月前）

年 月 前

問5. 現在の SPIS の利用状況についてお聞かせください。（○は1つだけ）

1. 導入以来、現在も活用している（⇒問6にお答えください）
2. 導入したが、現在はほとんど活用していない（または中断中である）（⇒問5-1にお答えください）
3. 解約し、現在は活用していない（⇒問5-1にお答えください）

問5-1. 「ほとんど活用していない」または「活用していない」理由は何でしょうか？

あてはまるものを選んで番号に○をお付けください（複数回答可）

1. 利用しづらいまたは使い方が分からないため
2. SPIS を導入したものの、当初期待していた効果が得られていないため
3. 本当は使いたのに、SPIS を活用するための時間をとるのが難しいため
4. 当社の管理方針とは合わないため
5. 担当者がいない（またはなくなった）ため
6. 利用者や担当者で対面している中で必要性を感じられないため
7. SPIS の利用に関するアドバイスやメンテナンスなどのサービスが満足いくものではないため
8. 外部相談を導入したが、組織管理の面で費用対効果が把握できない（上司に説明できない）ため
9. 外部支援者やスーパーバイザーなどのアドバイスサービスが契約期間満了で終了したため
10. 利用料が高い、または効果の割には高いため
11. 他のソフトウェアを活用しているため
12. 利用者が定数し、SPIS 利用の必要がないと判断したため
13. その他（具体的に）

⇒問5-2へお答えください。

1

次のページへお読みください

Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved.

NRI 37

< 参考 > アンケート原表（1 / 4）

問5-2. 今後再び SPIS を利用するとしたら、どのようなことが必要だと思いますか？

あてはまるものを選んで番号に○をお付けください（複数回答可）

1. もう少し操作性が簡単または便利になること
2. 利用者の効果がもう少し見えるようになること
3. SPIS を職場担当者で利用することを上司が理解し、バックアップすること
4. 当社の管理方針に合わせられるような柔軟な活用ができること
5. SPIS を利用できる担当者があること、担当者を育成するサービスがあること
6. 対面と SPIS の両方の使い分けの運用を社内で整理できていること
7. もう少しサポートサービスを充実させること
8. 外部支援者やスーパーバイザー支援の期間をもう少し長くしてほしいこと
9. 費用対効果をはかるような形で示してくれること
10. 他システムからのデータや情報が入りやすいこと
11. 対象となる利用者が現れること
12. 今後も利用の意向はない
13. その他（具体的に）

⇒問5-2の回答のあとには問17へお読みください。

問6. SPIS の現在の利用者数をお聞かせください。

人

問6-1. 現在は SPIS を活用していないが過去に利用していた方はおむね何人いらっしゃいますか？

人

問7. SPIS の職場担当者の人数をお聞かせください。

人

問8. 外部支援者、スーパーバイザーのアドバイスサービスを利用していますか？（○は1つだけ）

なお、外部支援者には「社外の地域の支援者」も含まれます。

1. 外部支援者もスーパーバイザーも両方のアドバイスサービスを活用している
2. 外部支援者のアドバイスサービスのみのみ利用している
3. スーパーバイザーのアドバイスサービスのみのみ利用している
4. 外部支援者もスーパーバイザーもともにアドバイスサービスは受けていない
5. その他（具体的に）

■ SPIS を利用した印象や気づきについてお伺いします。

問9. 日頃 SPIS を利用して、どのような印象や気づきを感じていらっしゃいますか？

それぞれの項目についてもっとも近いものを選び番号に○をお付けください。（○は1つだけ）

なお、利用者は日欄を記入している方を指します。

	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	そう は 思 わ な い
SPIS を通じて、利用者が自分の思いや内心考えていることを開示している	1	2	3
職場担当者からの回答を受けて、利用者の自己理解が深んでいる	1	2	3
SPIS を通じて利用者の理解が定着するようになっている	1	2	3
SPIS を通じて利用者の業務理解が進むようになっている	1	2	3
SPIS を通じて利用者の業務の生産性が上がるようになっている	1	2	3
担当する業務について利用者自身が改善案や意見を記述することがある	1	2	3
SPIS 利用者の中にはなじまない人もいる	1	2	3
SPIS を利用しているが、中には理解が定着しない利用者もいる	1	2	3
SPIS への書き込みにより利用者が夢中になり、業務に支障が出ることもある	1	2	3
SPIS を通じて利用者と信頼関係が構築できるようになっている	1	2	3
利用者と上司のやり取りを通じて変化が気づくようになっている	1	2	3
利用者の変化に気づいて事前に声かけなどを行うことができるようになっている	1	2	3
利用者の言葉や表情、行動を見て変化を見分けるセンスを職場担当者がある	1	2	3
利用者から発信される内容をもとに業務の改善につなげようとしている	1	2	3
利用者から発信される内容を担当する業務の改善につなげようとしている	1	2	3
職場担当者同士や組織の管理者・上司などと SPIS 利用者の状況について情報共有している	1	2	3
SPIS を通じて利用者への反応や期待する業務の理解能力が高まっている	1	2	3
利用者のやり取りから利用者が有する能力を見出すようになっている	1	2	3
SPIS 導入時に当初設定した目標は達成できている、または達成に向けて順調に進んでいる	1	2	3
SPIS を通じて利用者が会社の能力になってもらうよう上司が理解を示し取り組んでいる	1	2	3
これまでの SPIS 利用を振り返って、うまくいった例、得られた教訓を事例として整理できている	1	2	3
SPIS の利用をさらに高めて社員への気づきやエンゲージメントの向上に役立てている	1	2	3
上司は SPIS 利用を通じて得られた経験や知見を生産性向上、社員のキャリアアップに活用している	1	2	3
上司は SPIS 利用に際して「Plan-Do-Check-Action」などの管理サイクルを念頭に取り組んでいる	1	2	3
上司は SPIS 利用者や職場担当者から提案された内容を吟味して業務改善などに向けて取り組んでいる	1	2	3

3

次のページへお読みください

Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved.

NRI 38

アンケート原票

<参考>アンケート原表（1／4）

■ S P I Sの利用状況や意向についてお伺いします。

問10. S P I Sはどのような経緯で導入されましたか？

あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. S P I Sのホームページを見たから
2. 同業他社に勧められたから
3. 本社部門やグループ企業に勧められたから
4. 他社が導入しているのを見たから（聞いたから）
5. お客に勧められたから
6. 学校や支援機関に勧められたから
7. S P I Sのセミナーで説明を聞いたから
8. S P I Sの普及啓発を行なう担当者に勧められたから
9. その他（具体的に）

問11. S P I Sの導入に関して重視したことは何ですか？

あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. S P I S利用者の「取り組む気持ち」を見える化することで、本人の勤務の安定を図ること
2. 職場担当者や管理者が利用者の活動内容などを「見える化」してより的確な管理に反映できること
3. 利用者と職場担当者で円滑にコミュニケーションができる雰囲気や習慣を作ること
4. S P I Sの導入を契機に組織の管理方法を改善していくこと
5. 日々の成果や利用者や職場担当者との間のやり取りのログを通じて評価やキャリアアップの検討情報とすること
6. 利用者の活用状況を見て合理的配課事項を見直すこと
7. 職場担当者の対人関係や管理スキルアップが図れる研修や勉強会の機会が得られること
8. その他（具体的に）

問12. 実際にS P I Sの導入に際してどのような点を考慮しましたか？

あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. S P I Sが本当に自社に合っているかどうかを検証するため、人数を絞り試行した
2. S P I Sが本当に自社に合っているかどうかを検証するため、特定の部署において試行した
3. S P I S導入を前提として、対象となる人材や部署を予め設定し、順次拡大する計画を立てた
4. S P I S導入を前提として、利用者の勤務安定を目標とした
5. S P I S導入を前提として、利用者の戦力化を目標とした
6. S P I S導入を前提として、職場担当者のコミュニケーション能力の向上を目標とした
7. S P I S導入を前提として、職場担当者の管理能力の向上を目標とした
8. S P I S導入を前提として、組織の管理能力の向上を目標とした
9. その他（具体的に）

問13. S P I Sの利用をさらに有効にいくためにどのような取り組みを行なっていますか？

あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. 定期的に対面で利用者と職場担当者のミーティングを行なっている（または随行している）
2. 利用者に対して、活動成果や習得したスキル等の成長合いの評価をやり取りの中で伝えている
3. 利用者に対する回答や反応を示した内容を職場担当者やその上司などと情報共有している
4. 職場担当者を対象にしたスーパーバイザーのサービスを利用したり、社内で勉強会を開催している
5. 利用者の内心を聞きながらその打開の方向を考えるような質問を投げかけて、本人が考えるようにしている
6. 先に開始したS P I S利用者が断たに阻まれたS P I S利用者に使い方を教えるようにしている
7. 他社と機軸・発達の方のマネジメントについて意見交換する際に合わせてS P I Sの利用状況や工夫を聞いている
8. その他（具体的に）

4

次のページへお進みください

問14. 貴社ではS P I Sの他に別のソフトウェアやツールを活用して利用者ややり取りしていますか？（○は1つだけ）

1. はい（＝問14-1へお進みください）
2. いいえ（＝問15へお進みください）

問14-1. 差し支えなければソフトウェアやツール名をお知らせください。

（例：メールでのやりとり）

問14-2. そのソフトウェアやツールはどのようにご利用されていますか？

また、S P I Sとはどのように使い分けていますか？

- 1) ソフトウェアやツールのご利用方法

- 2) S P I Sとの使い分け

問15. 今後、S P I Sをどのように利用していくとお考えですか？

（利用者について）

問15-1. 利用者に対してのご利用意向について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. 入社または入所した新人に社新人としての意識を定着させることを目的として活用したい
2. 組織内の融通の良さ、働きやすさを促進したいため、一般社員にも適用したい
3. 利用者から発せられるコメントをさらに拡充して業務上のアイデアや業務改善を促進したい
4. 報道からの定着、業務の説明責任を定着させるように活用したい
5. コミュニケーションをさらに活発に行なうことを目的として活用したい
6. 自立とキャリア形成を推進させるように活用したい
7. その他（具体的に）

問15-2. 利用人数について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（○は1つだけ）

1. 利用対象範囲を拡大し、合わせて利用者数も増大して活用したい
2. 利用対象範囲を拡大し、利用者数も増大して活用したい
3. 現在の利用対象範囲の拡大を行わず、利用者数も固定して活用したい
4. 固定した利用者を減らさず、利用者数を徐々に減らしていきたい
5. 特に利用の拡大は考えていない
6. その他（具体的に）

5

次のページへお進みください

Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved.



39

アンケート原票

<参考>アンケート原表（1／4）

（職場担当者に対して）

問15-3. 職場担当者のご利用意向について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. 利用者に対しては、担当する業務の効率向上や生産性向上を意識してコミュニケーションを図りたい
2. 利用者のキャリア形成を意図してコミュニケーションを図りたい
3. 利用者が健康で働きやすい環境を整えることを意識してコミュニケーションを図りたい
4. 組織のビジョンや存在意義を理解してもらうことを意識してコミュニケーションを図りたい
5. 利用者だけでなく職場担当者間のコミュニケーションを拡充したい
6. 業務命令や指示を伝えるツールとして活用したい
7. その他（具体的に）

問15-4. 職場担当者の利用人数について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（○は1つだけ）

1. 職場担当者数を増大し、利用者数を増大したい
2. 職場担当者の利用者数は変更せず、担当したい利用者の人数を増大したい
3. 特に利用の拡大は考えていない
4. 職場担当者の人数を徐々に減らしたい
5. その他（具体的に）

（組織管理・上司の利用に対して）

問15-5. 組織管理・上司のご利用意向について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. 組織のビジョンや存在意義の理解を促進するために職場担当者とのコミュニケーションを増やしたい
2. 職場担当者任せにせずに、コミュニケーション機会を増大したい
3. 職場担当者の育成やキャリア形成を視野に入れてコミュニケーションを図りたい
4. これまで組織で得られたノウハウや教訓を形にして、職場担当者との共有を促進したい
5. 組織で得られた成果を経営会議や担当役員への報告機会を増やしたい
6. 報道や広報や管理の仕組みを職場担当者に理解・浸透するように指導したい
7. 今までどおりの利用を進めたい
8. その他（具体的に）

問15-6. 組織管理・上司の利用人数について、あてはまるものを選んで番号に○をお付けください。（○は1つだけ）

1. 対象者を増やしたい
2. 特に利用の拡大は考えていない
3. 対象者を減らしたい
4. その他（具体的に）

問16. 外部支援サービスやスーパーバイザーサービスの今後の利用意向についてお聞かせください。（○はそれぞれ1つだけ）

（外部支援サービス）

1. サービスを拡大したい
2. 現状維持を希望する
3. サービスを減らしたい
4. 利用意向はない
5. その他（具体的に）

（スーパーバイザーサービス）

1. サービスを拡大したい
2. 現状維持を希望する
3. サービスを減らしたい
4. 利用意向はない
5. その他（具体的に）

6

次のページへお進みください

■ S P I S利用上の課題についてお伺いします。

問17. 日頃S P I Sを活用してどのような問題を感じていますか？

あてはまる項目を選んで番号に○をお付けください。（複数回答可）

1. 画面でのアイコンや操作ボタンが使いにくい、またはわかりにくい
2. これまでに入力した内容をWEB上でコピーやペーストができず、手間がかかる
3. エクセルやワード、他の業務管理アプリケーションなどに転換するのが大変だ
4. 情報共有や情報制限がやりにくい
5. もっと業務改善につなげていきたいが、その方法が分からない
6. 利用者と職場担当者、その上司など、S P I S利用に関わる社員にしか理解が進展しない
7. その他（具体的に）

問18. 現在感じている貴社の課題についてお知らせください。

問19. その他S P I Sについてご意見がございましたら遠慮なくお書きください。

差し支えなければ、ご連絡先をお聞かせください。

貴社名または機関名：

お名前：

メールアドレス：

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

7

Copyright (C) NRI Mirai, Ltd. All rights reserved.



40



2024年度 公益財団法人JKA 公益振興補助事業
クラウド型日報システム SPIS
利用者アンケート調査報告 抄録
～パーパスを実現するSPISの高度利用に向けて～

発行日：2025 年 2 月 12 日

発行元：NPO 法人全国精神保健職親会

発行人：中川 均

連絡先：NPO 法人全国精神保健職親会

大阪市淀川区西中島 5-3-4 新大阪高光ビル 802

